tokuda The university of tokushima events **EVEN S 徳大行事予定** 2007/10/1~2007/12/31

● 「VBL院生夏の学校」 9月5日(水)~7日(金)/産学官連携プラザ 3F 産学連携ホール 問い合わせ先:ベンチャービジネス育成研究室 田中仁夫 Tel:088-656-7595 E-mail:ktanaka@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「イノベーションジャパン2007」

9月12日(水)~14日(金)/国際フォーラム 問い合わせ先:産学連携研究企画部 Tel:088-656-7592 E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「第1回MOT講座」

9月19日(水)13:30~17:00/産学官連携プラザ 3F 産学連携ホール 問い合わせ先:イノベーション人材育成センター Tel:088-656-7592 E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「創業ベンチャー経営者募集に関する説明会」

9月21日(金)18:00~/秋葉原ダイビル 9月28日(金)18:00~/大阪サテライトオフィス 問い合わせ先:産学連携研究企画部 矢野照久 Tel:088-656-7592 E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp

●第2回四国地区「大学知的財産戦略研修会」

10月5日(金)/産学官連携プラザ 3F 産学連携ホール 問い合わせ先:産学連携・研究推進課 Tel:088-656-7592 E-mail:sangaku@ccr.tokushima-u.ac.jp

●「徳島ビジネスチャレンジメッセ」

10月11日(木)~13日(土)/アスティ徳島 問い合わせ先:産学連携研究企画部 Tel:088-656-7592 E-mail:center@ccr.tokushima-u.ac.jp

● 「第54回徳島大学解剖体慰霊祭」

10月16日(火)/徳島大学大塚講堂(蔵本) 問い合わせ先:医学・歯学・薬学部等事務部 学務課 Tel:088-633-9649 E-mail:isygakumudgic@jim.tokushima-u.ac.jp

●「平成19年度国立大学法人徳島大学永年勤続者表彰式」

11月22日(木)/医学部青藍会館大講義室(蔵本) 問い合わせ先:総務部人事課福祉第一係 Tel:088-656-8603 E-mail:infuku1k@iim.tokushima-u.ac.ip

●「第4回大学院ヘルスバイオサイエンス研究部シンポジウム」

11月22日(木)/13:00~17:00/長井記念ホール(蔵本) 問い合わせ先:医学・歯学・薬学部等事務部 総務課 Tel:088-633-9118 E-mail: isysoumu1k@jim.tokushima-u.ac.jp

お詫びと訂正

●「第4回大学院ヘルスバイオサイエンス研究部市民講座」

11月25日(日)13:00~17:00/徳島県郷土文化会館 問い合わせ先:分子制御内科学分野 Tel:088-633-9271

●第2回国際シンポジウム・FDワークショップ 「21世紀の口腔科学が目指すべき方向性 -全身の健康を担う オーラルサイエンス-」 12月8日(土)/長井記念ホール・歯学部

問い合わせ先:医学·歯学·薬学部学務課第二教務係 Tel:088-633-7303 E-mail:isygakumu2k@jim.tokushima-u.ac.jp

っておりましたが、大学院ヘルスバイ 学院ソシオテクノサイエンス研究部とな まして、次の方々の元の所属部局等が イエンス研究部の誤りでしたので した「名誉教授の称号授与式」にお 福山岸伊 澤内健 恭 治卓 一進 名名名名 教教教教 夏号)に掲載 授授授授

22

2007/6/1~2007/8/31

ら実施されており、奨学生には進級

連携・要望事項につ

いて審議され

学試験案内、施設見学をはじめと

. など、多彩な内容を準備

本

える多くの家族連れらが訪れ、大盛

とあって、2日間で8000人を超

回科学体験

徳島

各学部では、学部・学科紹介、

入

ました。

同フェスティバ

ルには、夏休み

業計画及び県・市町村と大学の

等を合わせて、前年度より389

0

参加がありました。

関する講演に熱心に聴き入って 名近い聴衆があり、宇宙服や彗星に

い

21

この奨学生制度は平成17年度か

時に学業成績等の審査を条件に、

業(修了)までの間、毎月10万円

tokudainews 徳大ニュース

■第58回四国インカレ開催

県を舞台に愛媛大学が当番大学と 名の学生が参加し、26競技に熱戦 が繰り広げられました。 (日)までの3日間の日程で、 体操競技(男子)、第3位が水泳 .(男子)·水泳競技(女子)、第2位 本学からは、23競技に42 (四国インカ 5て6月29日(金)から7 ・ソフトテニス・剣道・ボ 58回四国地区大学総合体育大 競技別では、優勝が自動車 28大学・短大から約350 名、女子74名)の学生が出 レ)は、一部の競技を 户 1 -名(男 愛媛 競 \Box

支給されます。

の奨学生には、1年間毎月7一が支給され、国際連携大学院

位 年 上男子)、硬式庭球(女子)と好成績 作年 本学の総合成績は、男子が第4 位)と健闘し 第5位)、女子が第5位(昨 ŧ

た学部学生に対

し、奨学金を贈る

ことにより勉学意欲を高めること

後の努力により優秀な成績を修め 度と同じ寄附金を原資とし、入学

この成績優秀者制度も奨学生制

| 短期大学 | 愛媛大学 | 松山大学 | 女子競技 |
|-------------|-------------|------|------|
| 高知大学 | 松山大学 | 愛媛大学 | 男子競技 |
| 第 3 位 | 第 2 位 | 優勝 | |
| | | | |

■日亜特別待遇奨学生採用証書

亜特別待遇奨学生採用証書授与式 表彰式を挙行 工学部で は、7月3日(火)に日

会

授与式·日亜成績優秀賞

を日亜ホ

ルにおいて挙行

しまし

調

会議では、黒田会長(徳島大学副

目の開催となり 学長)の進行により、今年度の共催

ら採用証書を授与され、

採用生代

の生物工学科遠藤卓

七也さ

ソシオテクノサイエンス研究部長か

ス学生10名の、計

35名が大学院

研究業績等で選考され

、大学院生12名、国際連携大学院究業績等で選考された学部生13

入学試験や前年度までの成績、

大学地域・国際交流プラザ(日亜会携協議会)を8月3日(金)に徳島 的で設置されたもので、今回で7回 ,が連携・協力し、連携事業の企画・ 整を行 本協議会は、徳島県、県教育委員 「徳島地域連携協議会」 開催 、県市長会、県町村会及び徳島大 「平成19年度第1回徳島地域連 平成19年度 第1回进业地域通用运算会 地域貢献に資する目 に対 の会員を擁する組織です。設立され、世界6万国で7 のであります。 学部の学生の中から、学業成績に が期待される学生に授与されるも 優れ且つリ ととなり贈呈式が行わ

化学工

日亜特別

待遇奨学生

制度は日亜

学寄附金を原資とし、学部生及び化学工業株式会社から贈られた奨

を担う

人材育成を行うことを大き

を課さない奨学金制度で、

21世紀

大学院生を対象とする返済の義務

な目的としています。

を開催 ■オープンキャンパス2007

し、この奨学金が授与され

。今回、当歯学科学生

シップをとり将来

学科もありま 栄養学科·保健学科、工学部)、3日 5号の影響で参加者数が減少し 学部)の日程で開催しま ャンパスを、8月2日(木) (医学部 (金) [医学部医学科、薬学部]、7 火) 〔総合科学部〕、 、内外の高校生、 高校生を対象としたオ したが、全体的には 、保護者、 8日(水)(歯 ・ブンキ 台風 $\dot{\Box}$

化対策や町財政縮減に取り組んでのカーテン事業」を通じて地球温暖事業計画では、ゴーヤーによる「緑 要望事項では、大学が5月に自治体 ゆ子さんが奨学金を授与され おいて歯学科5年次学生の高嶋ま 奨学金の受賞 ■PFA国際歯学会 能なものから推進 査の結果、要望書の提出があった3 と大学に対して実施したニーズ調 が承認されました。 交流シンポジウムを開催すること 開催や平成20年1 いる上板町でのタウンミーティング カデミー(PFA)国際歯学会に 承されま. また、県・市町村と大学の連携 連携に向けて協議を開始 .月27日にピエー について意見交換が行. . A) は ルフォシャ 963年に米国で 户 ルフォシャ 2月に地域 ルアカデミ われ 〔 可 ŧ 今 科 研究室をはじめ、県内の小 今回も「さわって、つくって、楽 実際に科学実験等に参加すること 学のPRに取り組みまし 校の教員や大塚製薬株、日亜化学 成9年度から始まり、11回目となる 理科離れに歯止めをかけようと、平 内で開催しました。 日(土)、5日(日)の両日、同学部構 フェスティバ を知ってもらおうと、毎年恒例とな を通じて、科学の楽しさや不思議さ フェスティバルin して、授業・実習の体験、研究内容 学」をコンセプ 徳島大学工学部は、子ども達が 同フェスティバルは、子ども達の

に、同学部の各

した「イノベ

いる体験型イベント

「科学体験

科学体験フェスティノブル

徳島」を8月

ス研究部長から優秀賞を授与され秀者が大学院ソシオテクノサイエン

奨学金として20万円が支給されま

PF

推

薦され

た21名の前年度の成績優

賞表彰式も挙行され

、学科長から

また、同日午後に日亜成績優秀



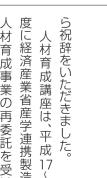
企業等から出展された4のブエ業株、株タダノといった県内 ル入賞作品展も開催 とともに、小・中学生図画コンクー 今年の特別企画は、技術職員が といった県内外 しま

本奨学金は、各国の歯科大学・歯

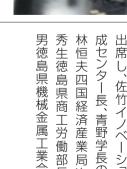
内中学校の生徒をはじ催した。講演会には、徳 を、今年新たに、高知県立芸西天文研究開発機構から山方健士開発員 のなぞと彗星探し」をそれぞれ開 別講演会「宇宙服のなぞ」、「彗星 学習館からコメッ ども達は、歓声を上げていました。 地球の6分の1 中心となって企画を更に練り上げ 有名な関勉氏を講師に招へい 「宇宙服に触れてみよう」などに子 力の宇宙服を試着できるコーナ できる「ムーンウォ また、昨年に引き続き、宇宙航空 た。講演会には、徳島県立城 の重力を疑似体験 ド」の新企画版 ハンター ク」や、 として 特

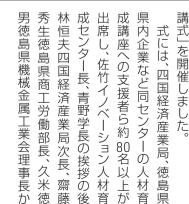
0

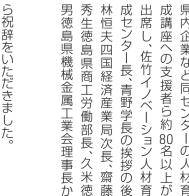
事例は、全国的にも極めて少なく、 助事業の後、関係各所からの支援・ する育成カリキュラムを開発 度に経済産業省産学連携製造中 、材育成事業の再委託を受け、 人材育成講座は、平成17 18

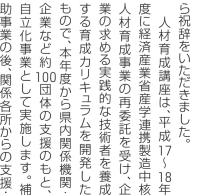


出席し、佐竹イノベーション人材育成講座への支援者ら約8名以上が県内企業など同センターの人材育

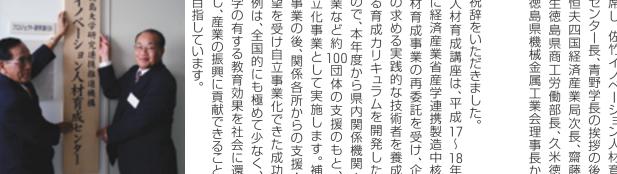












学官連携製造中核人材育成講座開 製造中核人材育成講座開 センター設置記念式典」及び ■「イノベーション人材育成 「平成19年度産学官連携 8月10日(金)本年度新たに設 設置記念式典」「平成19年度産 ・ション した。 人材育成セン 企 · 核 後 育 が育